

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立富田小学校

校長 世古 豊

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

学校が地域・保護者のみなさんと学校づくりビジョンを共有し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを進めます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<鯨船行事> 4年生

昨年度から4年生がユネスコ無形文化遺産に登録されている「鳥出神社の鯨船行事」について学習しています。

一学期は、古川町の鯨船「権現丸」倉庫の見学を行い、実物を見せていただきました。

二学期は、総合的な学習として、子どもたちによる調べ学習や鯨船行事富田小バージョン鯨船四艘会の方々とともに創り上げ実演練習を行いました。

10月、3年生や保護者に向けての発表に向け、鯨船四艘会の方々から毎日クラスごとに、鯨の動き方、掛け声のかけ方、太鼓の叩き方等を教えていただきました。





<防災教室> 1年生、3年生、5年生

9月に、富田地区連合自主防災隊、四日市市消防団富田分団、サルビアのみなさんにご指導いただき、防災教室を実施しました。

一・三年生では、体育館でそれぞれ、「服に火が付いた時の消し方」について体を動かしながら対処方法を学んだり（一年）、地震・防災についてクイズ形式で学習をしたり（三年）しました。

五年生は、運動場でポンプ車からの放水体験をさせていただきました。

どれも学年に応じた内容で、わかりやすく楽しく学習させていただき、子どもたちの防災意識が高まりました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

○コミュニティスクール運営協議会の開催

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を十分に取りつつ、学校行事や学級の授業参観をしていただき、さまざまなご意見をいただくことができました。

○学校評価アンケートの結果

「学校は楽しいですか」の問いに対して、95.6%（昨年度94.2%）の子どもたちがそう思うと回答しています。保護者アンケート「お子さんは、学校に楽しく行っていますか」の問いに対して94.8%（昨年度96.7%）、「学校は

保護者や地域の人々と連携して子どもを育てていると思いますか」の問いに対しては、91.9%（昨年度93%）の保護者がそう思うと回答しています。これらの結果から、コロナ禍にあっても学校と保護者と地域の方々、三者の日常的な連携・協力した活動が、子どもたちの体験的な学習活動をより深め、学校生活を充実させる大切な取組の一つになっていると考えます。

3 今後に向けて

富田地区は、地域と学校が大変密接なつながりをもっており、地域全体で学校を支え、子どもたちを育てていこうという雰囲気があります。子どもたちの登下校の見守りをはじめ、多くの場面で地域の方や保護者の皆さんにご協力いただきました。ただ、今年度もコロナ禍のため、米作り学習やふれあい集会の中止、朝の読み聞かせ活動の縮小がありました。その中でも地域行事の復活（鳥出神社の鯨船行事、富田地区総合防災訓練）があり、子どもたちも参加することができました。

来年度は、「With コロナ」の考え方で、地域に対して学校の教育ビジョンの更なる浸透をめざし、今後も地域全体が学びの場となるよう一層連携を深めていきたいと考えています。